

二つのこぶを持つフタコブラクダ。
こぶの中身は脂肪だ



こぶは、脂肪の蓄えが無くなり、ぺったんこになって倒れていきます。でも心配はいりません。また餌をたくさん食べると、ぴんと立ったこぶに戻るからです。ただ、ラク

脂肪を蓄え長い距離歩く

こぶの重さは、一つが約30キにもなります。フタコブラクダの場合、こぶが二つあるので、60キの脂肪を背負って生活し

ラクダのこぶの中身は？



ていることになりま。ラクダは餌をたくさん食べて、こぶの中にどんな脂肪を蓄えます。じゆうぶんに蓄えられると、こぶがぴんと立つので分かります。

この脂肪をエネルギーに変えることで、ラクダは餌を食べずに長い距離を歩くことができるのです。そのため、ラクダは砂漠の周辺に住む人々に家畜として飼われていきます。荷物運びや移動手段として暮らしに役立ってきました。

夕も年を取ると、こぶが立たずに倒れている状態がずっと続くことがあります。脂肪を蓄える働きが活発でなくなるためです。安佐動物公園のフタコブラクダも2頭のうち1頭は、こぶが倒れているのは、そのためです。また、ラクダのこぶは砂漠の強烈な日差しから体温の上昇を防ぐ役割も果たしています。こぶの分厚い脂肪を断熱材代わりに使って熱の吸収を防ぐとともに、こぶから熱をにがして、体温を調節しています。



(広島市安佐動物公園・屋野丸武)

募集

このコーナーで教えてほしい質問を寄せてください。分野は気象、水の生物、動物、植物、科学などです。左に書いてあるファクスか電子メールで送ってね。